

フィリピン

マニラ国際空港第2ターミナルビル建設事業



マニラ国際空港第2ターミナルビル全景

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	18,120百万円 / 18,014百万円
借 款 契 約 調 印	1993年8月
借 款 契 約 条 件	金利3.0%、返済30年（据置10年）
貸付完了	2000年12月

[事 業 概 要]

首都マニラのニノイ・アキノ国際空港において、狭隘かつ老朽化した既存ターミナルビルに代わる第2ターミナルビルを新設し、急増する国内・国際線需要に対処するとともに、利用客の利便性、安全性の向上を図るもの。

[評 価 結 果]

本空港は、国際線のほぼ100%、国内線の60%を処理する比国最大の空港であるが、本事業実施前は、国内・国際線ともに、ターミナルビルの乗客処理能力が不足し旅客の増加に対処することが困難な状況となっていた。

本事業により第2ターミナルビルが完成した結果、このような状況は改善され、特に、搭乗手続きや荷物の受取が円滑化し、乗客の利便性が向上した。また、ターミナルの新設により各航空会社のオペレーションも拡大し、航空会社間の競争も強化されたことから、運賃の値下げ等の効果ももたらしたとされている。

本空港施設の改善は、観光客の増加の他、新規投資の誘致にもプラスの影響を与えており、フィリピンのゲートウェイとして今後も重要な役割を果たすことが期待されている。

なお、本事業の運営、維持管理はマニラ国際空港公団（MIAA）にて行われているが、同社は財務体質的にも極めて健全であり、空港の運営、維持管理も円滑に行われている。